

講演

サケマスを捕食するヒグマの生態



野生鮭研究所所長 **小宮山英重**さん

2020.2/16 (sun)

会場…旭川市神楽公民館

講演…13:30～15:00

入場…無料

主催 **あさひかわサケの会**

後援

旭川市・旭川市教育委員会・旭川ケーブルテレビ「ポテト」・あさひかわ新聞・朝日新聞北海道支社
(株)ライナーネットワーク・北海道新聞旭川支社・毎日新聞北海道支社・読売新聞旭川支局



助成事業
日野自動車グリーンファンド

あさひかわサケの会総会・記念講演（一般公開）

実施要項

■ 日時

2020年2月16日（日曜日）

開場…13時00分

記念講演…13時30分～15時

会員会議…15時15分～16時30分

■ 会場

旭川市神楽公民館・2F第1学習室

旭川市神楽3条6丁目1-12

電話：0166-61-6194

■ 記念講演

演題「サケマスを捕食するヒグマの生態」

講師：野生鮭研究所所長 小宮山英重さん

■ 定員

63名（申込不要）

■ 問合せ先

TEL：0166-65-1940（寺島）

TEL：090-1303-9141（福地）

講師プロフィール

1949年東京生まれ。

1969年北海道大学農学部入学とともにあこがれの北海道に住む。在学中は山岳部員として知床連山登山を体験、以来、知床に魅せられ川と魚の研究をはじめ。

大学院に進んだ後、1974年札幌市の豊平川サケ科学館学芸員として研究を続け、豊平川カムバックサーモン運動でも中心的な役割を果たす。

1990年標津サーモン博物館に主任学芸員として招かれ、日本で初めてサケが自然産卵する池と水路を設計し、世界で初めてメスのシロザケを淡水で飼育することに成功する。

2003年に標津町職員を退職し、野生鮭研究所を設立し所長を務めている。

現在、おもに春～夏は道内各地でイトウを、夏～翌年春までは知床を中心にサケ・マスの調査を行ない、川とそこにすむ魚の不思議を追いかけて研究を続けている。「川にいると機嫌がよくて顔がちがう」といわれるほどの川好き。

＜人間ビジョン「サケ先生の特別授業」、
北海道人「生命の連なる場所知床半島」から引用＞

